

子宮頸がんワクチン

治療機関の公表を実現

民主党かながわクラブ
神奈川県議会 団 早稲田 夕季 わせた ゆき

子宮頸がんワクチン

12月6日の早稲田夕季の一般質問で、子宮頸がんワクチンの副反応報告が県内で25人に及ぶことがわかりました（医療機関または保護者からの報告件数）。県は横浜市立大学をはじめ、慢

性的な痛み等の治療が可能
な県内医療機関を、年内に
県ホームページで公表する
方針を明らかにしました。

これまで、厚生労働省が
治療機関として指定した全
国17病院の中に、県内の病
院が含まれておらず、遠方
に通院しなければならぬ

問題を指摘してきました。
問題は、ペインクリニック専
門医のいる60医療機関に働
きかけ、同意が取れ次第公
表していくとともに、「県医
療安全相談センター」で副反
応の相談に対応することを
決定しました。「副反応被害
に苦しんでいる方々に寄り
添い、意見を聞く機会を設
け、実態調査を実施すべき
と強く要望しました。

横濱市立大学をはじめ、慢

院が含まれておらず、遠方
に通院しなければならぬ



平成25年12月6日一般質問に登壇

厚生常任委員会
安全安心推進特別委員会

www.waseda-yuki.jp

早稲田 夕季

検索

政務活動事務所

☎0467・24・0573

海の家の健全化

湘南海岸の一部の海の家
が大音量を流す「クラブ化」
や風紀の乱れの問題で、逗

子市、鎌倉市が厳しい条例
制定を目指す動きの中で、
県の来夏に向けたガイドラ
インの強化、自主ルールの
取り組みだけでは不十分で
あるとただしました。

「海岸は県民財産の公共
用地であり、繁華街ではな
い。子ども連れで安心して
楽しめる海岸を」と、有識
者による検討会に、多くの
地元市町や住民の参加を求
めました。

検討会では、来年9月ま
でに音楽イベント、飲酒
入れ墨・タトゥの露出、水
上バイクの利用等の規制の
是非について協議し、12月
までに県は方針を決める予
定。引き続き、市民が安全
安心に楽しめる海岸のため
に取り組みます。